

豊浦町地域公共交通活性化協議会

平成21年3月6日設置



概要

豊浦町は北海道胆振総合振興局管内の西部に位置し、人口3,491人(令和6年12月末日現在)、高齢化率は38.8%となっており、人口減少と高齢化が進行している地域です。総面積は233.5km²で、大部分が山林となっており、海岸の背後に丘陵が広がる地理的な要件から坂道が多く、高齢者の通院、買い物に係る移動を支える必要性のある地域でもあります。主な居住地域は町の東部沿岸地域に位置する本町地区であり、こちらに人口の69%が集中しております。その他、町の中央部の沿岸地域に位置する大岸地区に12%、町の西部沿岸地域の礼文華地区に9%、山林が広がる町の北部地域に10%の人口が広く点在しております。

○地域公共交通の現況

- ・JR北海道室蘭本線(豊浦駅、大岸駅、礼文駅、小幌駅)
- ・民間バス路線(道南バス 地域間幹線系統1路線 洞爺湖温泉線)
- ・町営バス路線(2路線 町内本町地区～北部地区、町内本町地区～大岸地区～礼文華地区)
- ・コミュニティバス(町委託事業 2路線 町内本町地区～大岸地区～礼文華地区)
- ・ハイヤー会社(民間1事業所)
- ・有償福祉運送(町直営 町内全域～伊達市)

○地域公共交通の課題

- ・交通サービス維持のための財政負担
- ・町民が利用しにくい運行形態
- ・地域における公共交通資源の偏在

○調査の主な内容

- ・地域における主な交通乗降調査の実施
- ・地域住民のニーズ調査(アンケート調査、意見交換会)

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 令和6年6月5日 第1回協議会を開催
 - ・豊浦町地域公共交通計画策定のスケジュールについて
- 令和6年11月25日 第2回協議会を開催
 - ・バス路線「豊浦線」の再編について
 - ・町民アンケートの結果報告について
 - ・町営バス、コミュニティバス乗降調査の結果報告について
 - ・住民意見交換会の結果報告について
 - ・豊浦町地域公共交通計画の方向性(案)について
- 令和7年1月28日 第3回協議会を開催
 - ・地域公共交通調査等事業の事業評価について
 - ・豊浦町地域公共交通計画(案)について

公共交通の概要



豊浦町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

バス乗降調査結果

調査名	調査対象	調査方法	調査時期	回答者数
町営バス乗降調査	調査日の町営バス利用者	運行する全便に調査員が乗り込み、乗客に対し聞き取り調査を実施	令和6年8月28日(水)	37名(うち小中学生31名)
コミュニティバス乗降調査	調査日のコミュニティバス利用者	運行する全便に調査員が乗り込み、乗客に対し聞き取り調査を実施	令和6年8月28日(水)	52名(うち小中学生0名)

バスの乗降調査の結果は下記のとおりです

町営バス

3. 町営バス 礼文華線



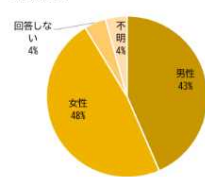
2. 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数(人)
豊浦駅 → 国道入口	7時21分	7時21分	3
中央公民館 → 国道入口	11時28分 15時50分	12時09分 16時31分	7 6

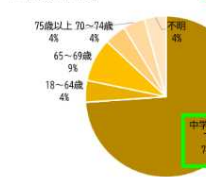
起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数(人)
国道入口 → 中央公民館	7時24分 12時15分 16時35分	8時2分 12時56分 17時7分	10 1 1

3. 利用者の属性 (利用者数 23人)

性別
女性が5割



年齢
中学生以下が7割



通学・帰宅の小中学生の利用が大部分となっている。

4. 町営バス 山梨線

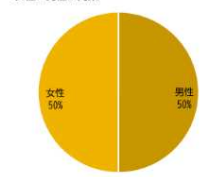


2. 運行便数と利用者数

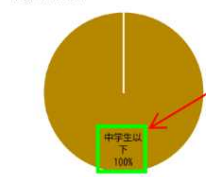
起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数(人)
豊浦駅 → 豊浦駅	6時52分	7時56分	8
豊浦温泉しおさい → 国保病院	12時40分 15時40分	13時54分 16時54分	0 6

3. 利用者の属性 (利用者数 14人)

性別
女性と男性が同数



年齢
中学生以下のみ



通学・帰宅の小中学生のみ利用となっている。

【調査から読み取れる傾向】

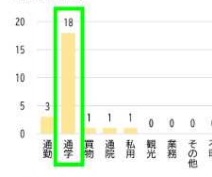
- 山梨線、礼文華線共に町営バスの利用は 小中学生の通学利用が大部分を占めている
- アンケートの回答者が小中学生であるためか、今後の運行に対する意見や意向に明確なものが無く、現状維持の声がほとんどとなっている。
- 礼文華、大岸方面にはコミュニティバスが無料で運行していることから、よほど希望する時刻が町営バスに無いと利用に繋がらない

3. 町営バス 礼文華線

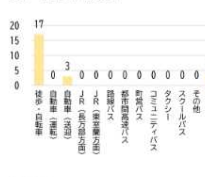


6. 利用状況 (利用者数 23人)

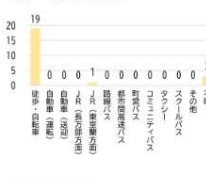
利用目的
通学が最も多い



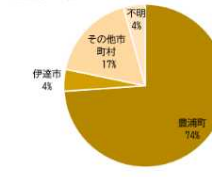
乗車前交通手段
徒歩・自転車が最も多い



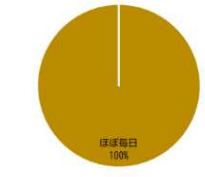
乗車後交通手段
徒歩・自転車が最も多い



目的地
豊浦町が7割



利用頻度
ほぼ毎日のみ



運賃の支払い方法
その他が4割



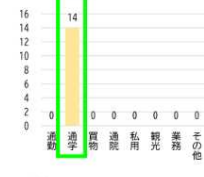
P12

4. 町営バス 山梨線

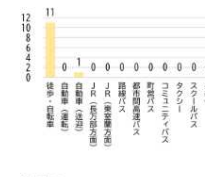


6. 利用状況 (利用者数 14人)

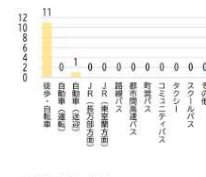
利用目的
通学のみ



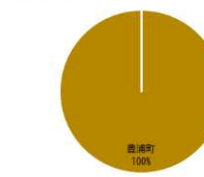
乗車前交通手段
徒歩・自転車が最も多い



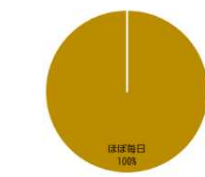
乗車後交通手段
徒歩・自転車が最も多い



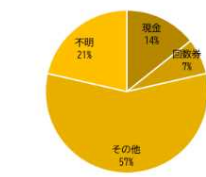
目的地
豊浦町のみ



利用頻度
ほぼ毎日のみ



運賃の支払い方法
その他が6割



P22

豊浦町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

バス乗降調査結果

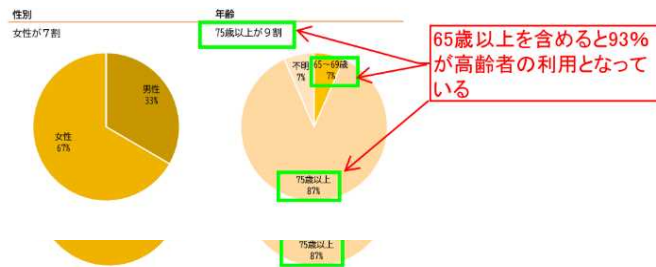
コミュニティバス

5. コミュニティバス いちごコース

2. 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)	起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
豊浦駅・大西団地 → 国保病院・豊浦駅	9時0分	10時40分	5	豊浦駅・岩佐宅前 → 大西団地・豊浦駅	9時45分	10時25分	5
	10時30分	11時10分	1		11時15分	11時55分	3
	14時20分	14時50分	1		15時0分	15時30分	0

3. 利用者の属性 (利用者数 15人)

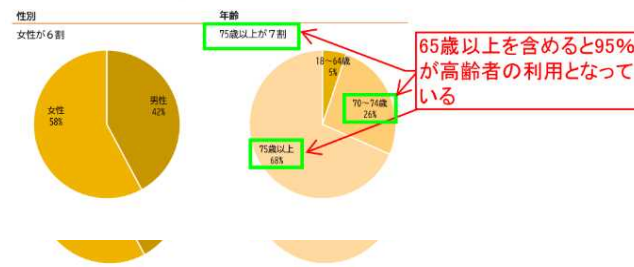


6. コミュニティバス ほたてコース

2. 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)	起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
豊浦駅・大西団地 → 国保病院・豊浦駅	9時0分	9時40分	2	豊浦駅・岩佐宅前 → 大西団地・豊浦駅	9時45分	10時25分	4
	10時30分	11時10分	5		11時15分	11時55分	6
	14時20分	14時50分	1		15時0分	15時30分	1

3. 利用者の属性 (利用者数 19人)



6. コミュニティバス 礼文華・大岸コース

2. 運行便数と利用者数

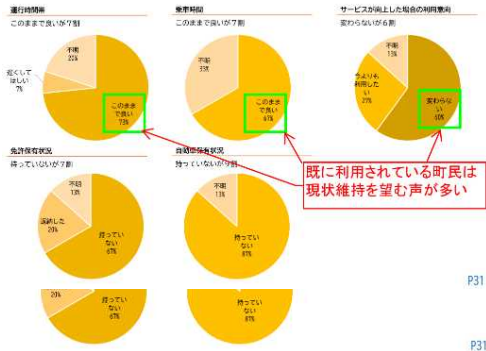
起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)	起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
久保宅前 → 豊浦駅	9時15分	10時22分	7	豊浦駅 → 久保宅前	10時35分	11時37分	4
礼文華・国道入口 → 豊浦駅	11時27分	12時32分	1		14時40分	15時51分	2
	19時20分	19時50分	0	豊浦駅 → 礼文華・国道入口	18時40分	19時19分	2

3. 利用者の属性 (利用者数 18人)



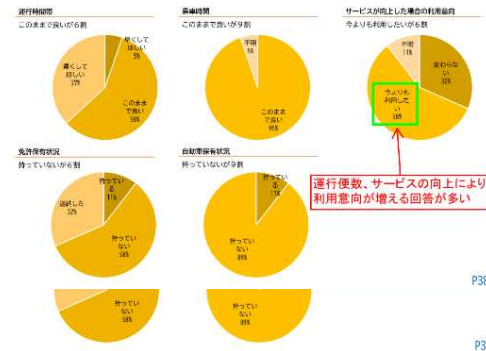
5. コミュニティバス いちごコース

6. 利用状況 (利用者数 15人)



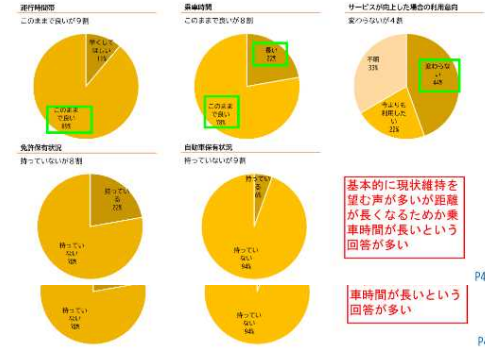
6. コミュニティバス ほたてコース

6. 利用状況 (利用者数 19人)



6. コミュニティバス 礼文華・大岸コース

6. 利用状況 (利用者数 18人)



【調査から読み取れる傾向】

- 町営バスと対照的にコミュニティバスは高齢者の利用が大半となっている
- 礼文華、大岸コースにおいては64歳以下の利用割合が若干多いが、大きな差はない
- 運行時間帯や乗車時間に対しても、現状維持の意見が大半を占めている。

豊浦町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

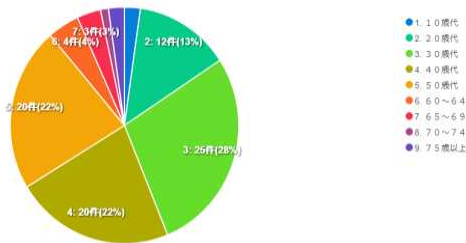
●事業の結果概要

webアンケート調査結果

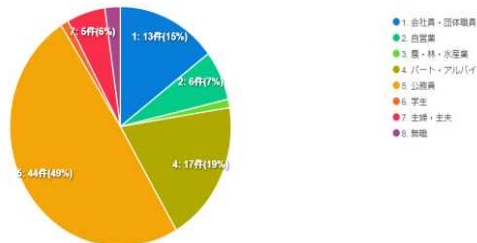
Webアンケートの調査結果は下記のとおりです

調査名	調査対象	調査方法	調査時期	回答者数
公共交通に係るwebアンケート	豊浦町で公共交通を利用する全町民	町のホームページと町公式LINEでアナウンス、町広報にアンケートサイトのリンクアドレスおよびQRコードを記載した案内チラシを折り込み、啓発を実施。	令和6年9月1日～9月30日	89件

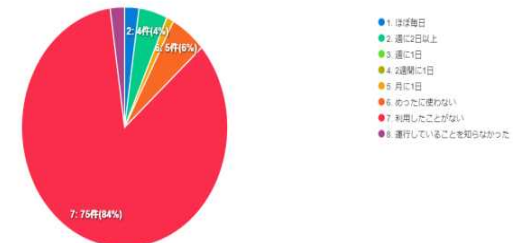
あなたの年齢【1つだけ選択】[回答者情報]



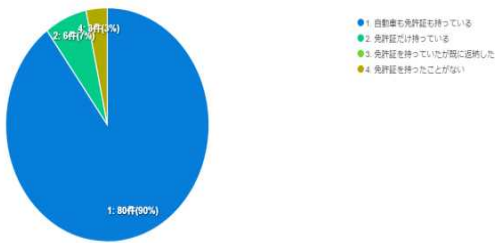
あなたの職業【1つだけ選択】[回答者情報]



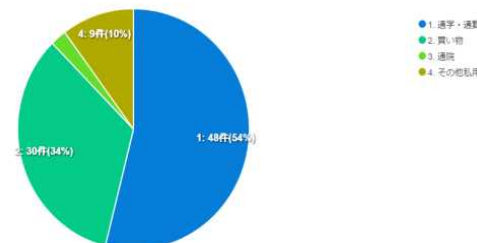
町営バスの利用頻度【1つだけ選択】[町営バスの利用状況]



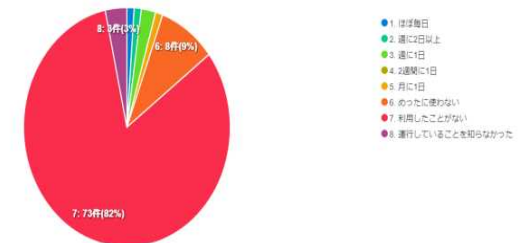
自動車と免許の保有状況【1つだけ選択】[回答者情報]



交通行動の主な移動目的について教えてください【1つだけ選択】[主な交通行動]



コミュニティバスの利用頻度【1つだけ選択】[コミュニティバスの利用状況]



通学先もしくは通勤先【複数選択可】[通学・通勤時の移動状況]



通学・通勤する際の交通手段【複数選択可】[通学・通勤時の移動状況]



豊浦町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

webアンケート調査結果

Webアンケートの自由意見

【町営バスについて】

- 子どもたちの通学手段として、どの学校の子ども達も利用しやすいように改善して欲しい
- スクールバス、子供達が本町に気軽に乗れて適切な時間の運行を希望
- お祭りなどのイベントに合わせて土日も利用できるようにしてほしい
- 全く利用する方がいない場所に停留所があるので、見直しをしてほしい
- 自分には必要ない
- 利用したことが無いからわからない
- この先も利用することは無い
- 朝の運行はスクールバスにしてほしい

【豊浦町の公共交通について】

- もう一歩寄り添った形に、変化させて頂けるとより良い
- 運行経路や時刻がわかりにくい
- 歩くことが困難な人が増えているが、自宅で暮らし続けるにはどうしたらよいか
- JRの維持をお願いします
- ライドシェアを導入したい
- 保育園の送迎にもバスを出してほしい
- 高齢者にはドア・ツー・ドアのような交通体系が望ましい
- 町民の足替わりには町営バスが必要なので、存続してほしい
- JR、バスも含め公共交通の転換期にある

【コミュニティバスについて】

- お祭りなどイベントに合わせて土日も利用出来るようにして欲しい
- 委託料が高すぎるのではないかと思う
- 自分たちには必要がない
- 利用したことが無い
- この先も利用することはない
- 町営バスとの違いがわからない
- コミュニティバスの存続を希望
- 豊浦駅、ニコット/コンビニ、病院との交通について、バス等でアクセスできるような体制は維持してほしい

- バスやJRの運行時間が通勤通学メインに設定されている為、午前中に出かけ午前中で自宅に戻れる便がなく不便
- バスの増便や相乗りタクシーなどの導入で利便性が上がるといい
- お酒飲んだ際の帰りの車が無い
- 町外にも行けるバスやタクシー費用の助成などがあると助かる
- 最低限、豊浦駅は死守していただき、大岸・礼文駅は廃駅でも致し方ない
- 公共交通を必要としていないので、特に関心は無い
- 乳幼児のいる家族でも困っている方が見受けられる

【調査から読み取れる傾向】

- Webアンケートという性質上、回答者の年代が現役世代に偏りが見られた
- 回答地域は人口構成比率の高い本町地区が中心となっていたが、大岸地区が17%と人口比率(約12%)より高い回答数であった
- 回答者のほとんどが免許証、自家用車を所有しており、町営バス、コミュニティバス等の公共交通を「利用したことが無い」が84%との回答であった
- 移動の目的としては「通勤・通学」が主なものとして54%、買い物が34%となっており、通院だけを目的としている方はごく少数(2件)であった
- 「通勤・通学」先としては豊浦町内が占め、「買い物」「よく行くお出かけ先」としては伊達市が大部分を占めた
- 町営バス、コミュニティバスの運行の在り方について、「普通」との回答が多かった
- 町営バス、コミュニティバス共に在り方についての回答は、その他以外の回答(「現状と同じ定時定路運行」「自宅や自宅近辺から目的地」「柔軟にタクシー運賃の割引」)の3つの選択肢が30%前後で拮抗する回答であった。

豊浦町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

町民意見交換会の結果

町民意見交換会の自由意見

対象地区	人口(世帯)	実施日	参加者数	啓発方法
北部地区	285人(世帯数:157)	令和6年10月17日	3名	町のホームページと町公式LINEでアナウンスを実施。 あわせて10月10日(木)配布の町広報に案内チラシを折り込み、啓発を実施
本町地区	2,414人(世帯数:1,351)	令和6年10月17日	0名	
大岸地区	405人(世帯数:251)	令和6年10月18日	6名	
礼文華地区	318人(世帯数:181)	令和6年10月18日	4名	

北部地区

豊浦町の北側大部分を占める北部地区は、地域の多くが山林となっており、人口規模の大きくない集落が点在している。



人口：285人(世帯数：157)
 自治会：7自治会(桜、大和、美和、山梨、新山梨、上泉、新富)
 産業：畜産業(牛、豚)、農業、林業従事者が多く、大和地区に障害者施設がある
 買い物：生活用品、食料品店舗は無い
 交通：町営バス「山梨線」が本町地区から町の東側～北東部に位置する桜地区、大和地区、山梨地区を運行

3

大岸地区

豊浦町の南側沿岸部の中央に位置する大岸地区は、豊浦町役場のある地域(本町地区)に次いで人口の多い地域である。



人口：405人(世帯数：251)
 自治会：1自治会(大岸)
 産業：漁業、農業従事者が多く、保育所、介護サービス施設がある
 買い物：小規模の生活用品、食料品店舗があるが地区の規模を満たしていない
 交通：町営バス「礼文華線」とコミュニティバス「礼文華・大岸コース」が通過する
 JR大岸駅(室蘭本線：無人駅)
 高速道路IC(豊浦IC)

5

北部地区における意見 (大和多目的集会所：参加者3名)

- ・ 運転をやめて公共交通で移動せざるを得なくなった人がいたが、移動にとっても時間がかかり不便な様子であった。
- ・ 公共交通を使うにも、乗り継ぎが不便なので、運転をしたくないが自動車を利用している。
- ・ そういう地域なので、町営バスを利用している人は小中学生以外ほぼいない。
- ・ 高齢者だけでなく、高校生を含む子どもたちも移動に苦慮している。
- ・ 送迎する保護者の負担も大きく、年間で4万キロの走行距離である。
- ・ 本音を言うと、生活しやすい町に引っ越したほうがいいと思っている。
- ・ 町内の病院はあまり利用しておらず、伊達市や室蘭市に通院している。
- ・ 行政がどこまで移動支援をしてくれるのか不安がある。町営バスやスクールバスもいずれ無くなるのではないか。
- ・ 北部地区は人口が少ないが面積が広いので、自治会の合併も難しい。
- ・ 人口が少なく交通に対するニーズは少ないかもしれないが、しっかりと課題を把握してほしい。
- ・ どのような公共交通の形が理想か、地域の「寄り添う形」を検討する必要があると考える。
- ・ 町の財政が厳しいという話を聞くと、声を上げるのもためられる。

4

大岸地区における意見 (大岸いきいきセンター：参加者6名)

- ・ バス停まで歩くのが困難な方や、乗降が大変な方が利用を控えている。
- ・ 移送サービス(福祉有償運送)を使用したいが、要支援認定相当までには至っていない。
- ・ バスだと荷物が運べず、高齢者の買い物利用は難しい。
- ・ コミュニティバスを有償にすることで便利になるならそうしてほしい。
- ・ 運行中に時間調整で停車しているバスを頻繁に見かけるが、タイヤの修正が必要ではないか。
- ・ 土日もバスを運行してほしい。
- ・ JRは豊浦駅で折り返す便が多く、大岸駅、礼文駅の便数が少ない。
- ・ 大岸や礼文華に住みたくても、交通が不便だから住まない人もいる。
- ・ 町営バスの運賃や運行情報など、わかりやすくする配慮してほしい。
- ・ 子どもがシュタイナー学園にバスで通学しているが、帰りの時間が合わず送迎を行っている。運行状況などが分かる仕組みがあると保護者も対応しやすい。
- ・ 通院等で大岸から伊達市まで行くには、3回も乗り換えが必要となり不便。
- ・ 駅の廃止という話も聞くが、廃止になると高校生は通学ができなくなる。
- ・ 目的地に対し、どの時間帯が適正か考えてほしい。

6

豊浦町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

町民意見交換会の結果

町民意見交換会の自由意見

礼文華地区

豊浦町の南西部かつ沿岸部の西側に位置する礼文華地区は、本町地区から自動車ですら25分程度の距離に位置している。



人口：318人（世帯数：181）
自治会：1自治会（礼文華）
産業：漁業、農業従事者が多く、認可外保育園がある
買い物：生活用品、食料品店舗は無い
交通：町営バス「礼文華線」とコミュニティバス「礼文華・大岸コース」の終着点
JR礼文駅（室蘭本線：無人駅）
JR小幌駅（室蘭本線：無人駅）

7

礼文華地区における意見（礼文華生活館：参加者4名）

- ・ 月1回、伊達市の病院に通院しているが、道南バス「豊浦線」の廃止に係る路線の再編により、伊達市までの移動にこれまでより30分は待つ時間が増えた。
- ・ 午後の通院となると待ち時間はさらに長くなり、家に着くのは20時頃になってしまう。
- ・ 豊浦駅は階段の高さがきつくと、ホームへの移動が大変で、後ろから来る学生にせかされることもある。
- ・ 町営バスも乗降口が狭く、荷物を持った乗り降りが不便。
- ・ 近くに買い物ができる場所が無いことから、主に「トドック」や「おまかせ便カケル」などのサービスを利用して生活品の買い物をしている。
- ・ 土日は町営バス、コミュニティバスが運休のため、ほとんど移動できない。毎週でなくても良いので運行してほしい。
- ・ 免許返納を考えなければと思うが、公共交通だけでは生活が難しい。
- ・ JRの便数が少ない、日中の利用はほとんどできない。
- ・ コミュニティバスは無料だが、運賃負担をするので利便性が良くなるよう見直してほしい。
- ・ 温泉しおさいに行く人が多いせいか、月・水・金にコミュニティバスが混んで一回で乗れないこともある。

8

本町地区

役場をはじめ、病院や学校などの公共施設が集約している豊浦町の中心地。

※本町地区は参加者無し



人口：2,414人（世帯数：1,351）
自治会：18自治会
産業：病院、学校、役場、温泉施設など公共施設が集積しており、従事者も多様
買い物：コンビニ2件、ホームストア1件
交通：町営バス「山梨線」「礼文華線」とコミュニティバス「いちごコース」「ほたてコース」の発着点
道南バス（洞爺湖温泉線）の終着点
JR豊浦駅（室蘭本線：無人駅）

9

【調査から読み取れる傾向】

- 公共交通のニーズは高齢者と学生に多く、どの地域においてもそれぞれの生活行動に即した運行が求められている。
- 既存の公共交通の車両や施設は、利用者が使いやすくする工夫と情報発信が求められている。
- 高齢者は免許返納をしてしまうと生活が継続できないという危機感を持っていて返納ができない。
- 運行時間や乗り継ぎの多さなどを考えると、公共交通が接続できれば良いということではない。
- 現役世代にとっては自家用車の所有が当たり前であり、公共交通に対する問題意識が薄く、子どもの移動ニーズも送迎で対応している。

以上の調査結果、意見を踏まえて計画素案を作成。パブリックコメントを実施し、令和6年度中に計画を策定します。

豊浦町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

各調査等事業の結果、下記の課題が明確となりました。これらの課題を踏まえ、地域公共交通計画の基本方針を次の通りといたします。

課題	内 訳
町民が利用しやすい交通体系	町営バス、コミュニティバスにおける定時定路運行については現状維持の声も多いが、利用時間帯における利用者数の偏りもみられることから、効率的な運行が求められている
	幹線バス路線の再編等に伴うダイヤの変更に対応し、町内の公共交通から円滑な乗り継ぎが可能な運行ダイヤの見直しが求められている
	高齢者においては買い物などの荷物を持ったまま公共交通を利用することが困難であることから、ドア・ツー・ドアに近い形での運行体系へのニーズが高くなっている
	高齢者を中心に足腰の衰えによる乗り降りへの不安が高まっており、乗り降りしやすい車両の導入が必要である 合わせて季節による寒暖の影響を受けずに待つことのできる環境整備が必要である
地域公共交通の偏り解消	町営バスは区間制運賃を採用しており、目的地までの運賃がわかりにくいことから、わかりやすく、使いやすい交通運賃体系が求められている
	幹線交通との接続や、目的地までの移動最適な移動経路や時間が把握できるような運行状況の見える化が求められている
	本町地区とそれ以外の地区では公共交通の利便性に差が生じていることから、居住地域に関わらず公共交通を利用できる体制の整備が必要
	路線や駅の廃止などの公共交通を取り巻く環境の変化から、将来的に持続可能な公共交通体制の構築により、公共交通に対する不安の解消が求められている

基本方針 支える、つながる、交通網の実現

目標1 地域全体で支える円滑な町内移動環境の実現

町内すべての居住地において、円滑な移動が可能な交通環境を整備します。礼文華・大岸と市街地をつなぐ基幹路線の整備や、交通空白地域における生活交通の運行を推進し、町内交通資源を総動員して移動の利便性向上を図ります。

この取り組みにより、すべての住民が平等に移動機会を得られる環境を実現します。

目標2 町外生活圏とつながる利便性の高い交通ネットワークの構築

町外へのアクセスを強化し、生活圏を広げることで住民の利便性を高めます。JRや路線バスとの接続を強化するとともに、町外への移動ニーズに応える交通手段を拡充します。

特に、通院や買い物の目的地となる伊達市などへの広域交通を整備することで、地域住民の生活をより豊かにします。

目標3 必要な方に持続的な交通サービスの提供

高齢者や交通弱者など、特定のニーズを持つ住民に対して着実にサービスが提供される仕組みを構築します。情報提供の充実や他分野との連携を通じて、住民等が必要なときに交通サービスを利用できる環境を整えます。

また、持続可能な運行体制を支えるため、運転手確保や関係者連携の強化にも取り組みます。

豊浦町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

目標	評価時期	施策実施状況を図る指標(アウトプット)	計画達成・目標達成を図る指標(アウトカム)
1 地域全体で支える円滑な町内移動環境の実現	R8～	既存の町内公共交通の再編	町内公共交通の利用者数 20,181人/年 以上
	R9～	タクシー助成の導入	タクシー助成の利用者数 ●●人/年 以上 (実証運行や利用意向等の調査結果を踏まえ数値設定を想定)
2 町外生活圏とつながる利便性の高い交通ネットワークの構築	R8～	豊浦町と生活圏自治体を結ぶ新たな公共交通の導入	新たな公共交通の利用者数 ●●人/年 以上 (実証運行や利用意向等の調査結果を踏まえ数値設定を想定)
	R8～	鉄道及び路線バスへの接続率 22%以上	左記と同様
3 必要な方に持続的な交通サービスの提供	R9～	情報提供体制の拡大	—
	R8～	町内公共交通の収支率	—
	R8～	町内公共交通への公的資金投入額	—
	R9～	第二種免許取得制度の導入	第二種免許取得者数 1人/年 以上 公共交通業界への新規就業者数 1人/年 以上

●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり実施されている。
- ・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
- ・今後、地域公共交通計画策定後についても、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についてさらに検証していくことをご検討いただきたい。